

令和4年度 専門部会報告

部会名	保健体育科
-----	-------

(1) 令和4年度 専門部会研修事業報告
研修目標 「未来を拓く私学教育」
研修テーマ 「たくましい体力と豊かな情操を育てる」

○保健体育科研修会

1. 日 時 10月21日(金) 12:50~
2. 会 場 オイスカ浜松国際高等学校
3. 内 容
 - ・公開授業 高校1年生 「サッカー」(生徒31名)
授業者 藤田 健太郎先生
 - ・実技講習 「生涯スポーツとしてのゴルフの基礎を学ぶ」
一般社団法人静岡県ゴルフ場協会
石野プロ、難波プロ
 - ・観点別評価の取り組みについて
発表者 斎藤 宏次朗先生
 - ・指導講評
オイスカ浜松国際高等学校 教頭 村松喜一郎先生

【指導講評 オイスカ浜松国際高等学校 教頭 村松喜一郎先生】

- ・高校体育では運動量の確保が大切であり、体を育てることが大事。
- ・サッカーの授業では充実した施設を活かし、生徒を飽きさせない内容であった。
- ・観点別評価は説明責任を果たすという理由で導入された。高等学校は各学校で内容が大きく違う場合もある。各担当教諭の目が基準となる場合もあるので成績の説明ができるよう責任を持つことが大切。
- ・県ゴルフ場協会が関わっているゴルフの授業はオイスカ浜松国際高校を初め多くの公立高校でも導入されている。プロによる授業料は全て無料であり、最後はゴルフ場で生徒がプレイできる利点もある。これまで50校近くの高校で支援されてきた実績がある。

【公開授業について】※アンケートより

- ・競技の特徴を良く捉えた基本練習がサッカーのみならず他種目にも活かせると思った。
- ・サッカーのドリブルに特化した内容でとても参考になった。
- ・ゲーム形式の時には生徒が楽しそうにやっている姿がとても良かった。
- ・サッカーの授業では、人の動きをしっかりと考えさせながら、運動量もあり生徒たちが楽しく、またできたことを実感できる内容だと感じた。
- ・自分の専門競技以外の内容でフィードバックや展開の内容が非常に参考になった。
- ・非常に工夫された内容で今後自分の授業にも取り入れていきたいと思った。
- ・生徒も先生も1つの授業の中で目的がしっかり理解されていて、分かりやすい授業だと感じた。
- ・テーマ、課題の与え方によって狭いスペースでも質の高い授業が可能であることを理解し知ることができた。
- ・施設が充実し、サポートがしっかりしている。
- ・特に生徒の頭の中を言語化させ共有することで集団全体の学びを広げていた。また、また、メニュー1つに掛ける時間を長くすることで課題に気づき、反省、改善を

1つの時間の中でできていた。

- 内容はもちろん、細かな生徒への声掛け、コミュニケーションの方法が参考になった。生徒との関係性も重要だと感じた。
- サッカーの専門性を活かした授業内容が大変参考になった。

【実技講習（ゴルフ）について】※アンケートより

- 9年前から授業でプロゴルファーが生徒たちに教えてくれていると分かった。
- レッスン料は全て無料、クラブ、ボール、マット等の道具の貸し出しも無料、74のゴルフ場が現在加盟していて、ショートコースや本コースも無料でプレイさせてもらえることに驚いた。
- ゴルフは生涯スポーツ、本校でも取り入れたい。
- 本校ではゴルフ授業を行っていないので参考になった。
- 今回のゴルフ実習のように生徒と同じ気持ちで楽しめる実習が今後もあると嬉しい。教員の交流の場にもなり情報交換もできとても有意義な時間でした。また、実際の生徒の感じ方も知ることができ良かった。
- プロの方に教えていただき大変貴重な経験ができた。今後もこのような機会を作っていただきたい。
- 上手に打つコツを教わり試してみようと思った。

【観点別評価の取り組みについて】※アンケートより

- パワーポイントを使って分かりやすく丁寧に説明していただき大変参考になった。
- 一昨年度まですでに導入されていた中学校保健体育の4観点の評価から今年度高校で導入された3観点の評価の違いについて理解でき参考になった。
- 観点別評価の基準を決めるに当たって難しい部分もあるが「参加と貢献」等の言葉の違いが分かりやすかった。
- 観点別評価の考え方について実践から見えてきた課題は改めて自校の取り組み、考え方を再考する機会となった。
- 観点別評価については本校でも四苦八苦しているのが現状だが、今日の研修で参考にできるところがたくさんあったので良かった。
- 観点別評価について今日話を聞いて、より詳しく他校の実践を知りたいと思った。

